

続・みんなで作るみんなの交野



10/1にR8年第3回議会定例会が開会され、先の市長選挙で再選した山本景市長が所信表明を行いました。2期目の任期となる今後4年間で取り組む主な施策の概要を紹介します。

はじめに

私は、前期の4年間「みんなで作るみんなの交野」を掲げ、交野市民の皆様の声を聞く市政をお約束し、市長とのタウンミーティングや市民説明会等を重ねて参りました。

今回の交野市長選挙では「続・みんなで作るみんなの交野」を掲げ、過去最多得票で当選しました。今後の4年間では、前期と今期を跨ぐ施策を完結させるとともに、新たな施策にもチャレンジして参ります。その際には、7万7,000交野市民の皆様の声を公正・公平に聞いて参ります。交野市民の皆様の利益を第一に考え、国や府に言うべきことを言える市政が選ばれたものと、私は考えます。それらのことを決して忘れず、己を律し、謙虚に市政運営にあたることを冒頭にお約束いたします。

2期目で取り組む6つの重点施策



物価高騰対策



防災力強化



おりひめバス



庁舎・公共施設



子育て・教育



財政健全化

物価高騰対策

- 上下水道基本料金免除を2か月分追加し、通算12か月分免除
- 多子世帯(18歳までの子ども3人以上)に、1世帯あたり1万円を加算支給
- 今後の物価高騰対策は、国の経済施策や地方交付税の状況、今後の市水道料金を踏まえて判断



防災力強化

- 指定避難所となる公共施設のトイレ大規模改修など、避難所環境の改善や機能を強化
- 指定避難所がない地区に、地域の実情を踏まえた指定緊急避難場所等を整備
- 私部西草川・長砂雨水幹線で浸水対策を実施し、私市大西川や星田大池でも対策を検討
- 人口規模等を踏まえた適切な費用分担による消防広域化、消防本部庁舎の長寿命化工事と移転にもチャレンジ



おりひめバスの存続と拡充

- おりひめバスを存続し、利便性向上と財源確保を図る
- 北部ルート of 運行時間拡大、主要なバス停等へのベンチ設置、複数路線利用者への乗継割引制度を導入
- 私市駅や星の里いわふねを包含した対策を検討



庁舎と公共施設の リニューアルと最適配置

- 市役所本館の耐震工事を実施し、市役所隣接地に防災指令センターの整備にチャレンジ
- 青年の家では改修工事を継続し、1階部分全体を図書館化。また、倉治図書館では隣接する歴史民俗資料展示室を活用し、読書スペースを拡充
- 星の里いわふねでは無料駐車場を拡大し、アスレチックの復活を目指す。施設の舞台照明や音響等をリニューアル
- 第一中学校跡地では、避難所、消防分団車庫、子育て支援施設や芝生広場兼テニスコート等を整備
- みらい小学校跡地では避難経路の改善を優先し、南側校舎とグラウンドの活用の方性を検討・決定
- ゆうゆうセンターでは施設利用の利便性向上に取り組み、建物の名称を「ゆうゆうセンター」に統一



子育て支援と 教育環境の改善

- 公立認定こども園は直営を堅持し、施設の長寿命化工事を実施。おむつのサブスクリプションを実施し、3～5歳児の給食費無償化を段階的に実施
- 小規模保育施設2園の開園など、人口あたりの保育定員を拡大し、地域の保育士確保を推進
- 産後ケア事業を段階的に拡充。また、家庭内で1・2歳児を保育する世帯への経済的支援を検討
- 学校のあり方では小中分離の考え方を継続し、第三中学校区の学校再配置を再考。教育環境では小学校トイレの大規模改修と小中学校のほぼ全館空調導入を実施
- 放課後児童会は直営を堅持し、藤が尾小学校では児童数増加を見据えた対策を実施。またフリースペース事業を更に充実
- 子どもたちの意見を施策に反映するため、子ども条例を制定
- 府立交野高等学校の存続を支援



財政健全化

- 身を切る改革として、市長交際費の利用停止を継続し、退職金及び月額報酬の一定割合を削減
- 補助金や有利な地方債の活用、基金運用による金利収入の更なる確保、クラウドファンディング等に加え、駐輪場の集約化、公共施設の市外料金収入の増加等による財源を確保し、土地開発公社の保有残高を0とし、清算

